

# 非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の遺伝的解明が進んでいる！治療も・・・

肝臓川柳

将来は 治療につながり 良いでしょう

(良いでしょう…いいでしょう…いいでし…いでし…いでんし…遺伝子…遺伝子解明！)

非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）、脂肪性肝炎（NASH）は、食事、運動、肥満などの環境因子や糖尿病などの基礎疾患の影響が強いですが、以前もお話しましたように遺伝的要因もあります。

ゲノムワイド関連解析（GWAS）から明らかになった PNPLA 遺伝子の多型（変異）は日本人に多いですが、肝臓の脂肪化や線維化進行のリスクになると言われています。

その他の関連遺伝子も複数明らかになっており、中でも HSD17B13 遺伝子の多型（変異）は重要であり、逆に病態進展に保護的に作用するとされています。

なんとこの2つの重要な遺伝子変異の治療（遺伝子から作られた蛋白を抑える）の治験が、来年より日本でも始まります。

NASH の分野でも次々と遺伝的要因が解明されつつあり、治療ターゲットとしても注目されており、この分野から目が離せません。



## これだけ覚えておいて損はない！今回のポイント

NAFLD、NASH に対しては遺伝子的な要因もあり、  
現在その遺伝的解明が進んでおり、  
今後治療ターゲットとしても注目されています  
今後更なる治療の進化が期待されます

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患センター長 野ツ俣 和夫)